

議会改革推進会議「検討部会」会議録

令和6年10月18日

亀山市議会

議会改革推進会議「検討部会」会議録

- 1 開催日時 令和6年10月18日(金) 午前10時00分～午前10時50分
- 2 開催場所 第1・2・3委員会室
- 3 出席会員
部会長 福沢 美由紀
副部長 新 秀 隆
部会員 櫻木 善 仁 森 英 之 今岡 翔 平
 小坂 直 親
会 長 森 美和子
副 会 長 伊 藤 彦太郎
- 4 欠席会員 なし
- 5 事務局 議会事務局長 大 泉 明 彦 議事調査課長 水 越 いづみ
書 記 新 山 さおり 書 記 渡 邊 靖 文
- 6 案 件
1. 第88回から91回検討部会の確認事項について
2. 議会改革白書2024への掲載内容の確認について
3. 議題
 (1) 子ども議会の実施について(検討課題47)
 ・令和6年度亀山市中学生議会アンケート結果について
 ・今後の子ども議会の実施について
 (2) 議会改革のまとめについて
4. その他
- 7 経 過 次のとおり

午前10時00分 開 会

○部会長（福沢美由紀君） 皆さん、おはようございます。

ただいまから、第92回議会改革推進会議検討部会を開会いたします。

事項書をご覧ください。

まず、事項1. 第88回から91回検討部会の確認事項について、カルテへ追記しましたのでご確認いただきたいと思います。

内容について、事務局より説明をお願いいたします。

新山グループリーダー、お願いします。

○議会議務局員（新山さおり君） それでは、資料1をご覧ください。

子ども議会の実施についての検討課題47番のカルテでございます。

子ども議会の実施につきましては、今年は中学生議会を開催するという事で進めていただきまして、追記をしております。

改定年月日は、今年1年の締めくくりの日が今度21日の推進会議になりますので、その日に入れさせていただきます。

3ページをご覧ください。

8月27日に開催しました中学生議会の進行や体制について、8月8日の検討部会、あと8月20日の推進会議でご確認をいただきました。そして、開催前にちょうど台風が近づいておりまして、災害時等の緊急時における開催についてのご協議を、8月26日と8月27日にかけてご協議をいただいております。そして、当日8月27日に、議場におきまして、令和6年度亀山市中学生議会を開催いたしました。こちらを追記いたしております。以上でございます。

○部会長（福沢美由紀君） 説明は終わりました。

カルテの追記に関して何かありましたら、発言をお願いいたします。

よろしいな。

（「よろしいです」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） よろしいですね。経過ですんでね。

ないようでしたら、カルテはこのように更新いたします。

次に、事項2. 議会改革白書2024への記載内容の確認についてでございますが、確認事項はありませんでした。

次に、事項3. 議題に入ります。

まず、（1）子ども議会の実施について（検討課題47）でございます。

子ども議会については、令和6年度は中学生議会として実施することとし、この検討部会やプロジェクトチームで学校説明会の資料や当日の進行、資料等についてご協議いただきながら進めてきましたが、去る8月27日に令和6年度亀山市中学生議会を開催しました。直前まで天候に悩まされましたが、無事に終えることができました。

本日は、中学生議会について、ご参加いただいた中学生、保護者、学校関係者を対象に行ったアンケート調査の結果についてご確認いただきたいと思います。

それではまず、アンケート調査の結果をまとめていただいた櫻木委員から説明をお願いいたします。櫻木委員。

○部会員（櫻木善仁君） それでは、アンケート結果についてご説明をさせていただきます。

まず、画面1ページ目なんですけど、ここでは回答された区分を表しております。生徒19人、それから学校関係者5名の回答でした。ちょっと残念ながら保護者の方はゼロ件でありました。それから、子どもたちが19名参加したんですけれど、100%の回答率でした。先生に関しては、5名ということです。

その参加した中学生議会について満足しているかしていないかということで、まず「満足していない」というのはゼロでした。「満足している」「おおむね満足している」ということで、100%となっております。

次のページをお願いします。

次のページは、問1で回答された内容の記述になります。

これを全部読み上げていると時間がありませんので、まずはやっぱり貴重な体験ができたということと議会の仕組みを知ることができたとかありました。

マイナスなところがちょっとあって、11番になるんですけど、自分の意見やふだん思っていたことを伝えることができたんですけど、返答があまり、期待していたものとはちょっと違っていたというようなところがありました。たまかそれぞれが聞きたいことが聞けたということで、非常によかったなという形です。

問3に関しては、一般質問を通じ、思いや考えを伝えることができたかということで、ここもほぼ90%が「十分伝えることができた」というような評価を皆さんがしております。

それから、次のページになります。

問4になります。

ここは質問に対する市の答えはどうでしたかということで、先ほど記述にもありましたとおり、ちょっと「わからなかった」というのがちょっと残念ながら1件ありました。それから、あとは「よくわかった」「少しわかった」ということで、残りになります。

問5が、中学生議会に参加して、亀山市のまちづくりへの興味・関心は高まりましたかというところなんですけど、ここは「非常に高まった」というのがもう70%近くあるということで、「変わらない」というのもゼロということで、非常にいい評価になっております。

それから問6が、中学生議会に参加して、亀山市議会への興味・関心は高まりましたかというところで、これは「非常に高まった」というのが70%ということで、よい成果があったのかなというふうに評価ができます。

次のページがその中の記述になりますが、ここはまたいろいろ細かいことが書いてあるので、またご覧ください。

ちょっと気になったところが、やはり④になるんですけど、市に対して安心を持ったのと裏腹に本当に実現させるような行動をしてくれるのかについて不安を抱いたということで、この辺は私たちがウオッチしながら、していかなあかんとところかなというところと、6番目の私たちのことを一人の大人のように接してくれたということで、非常にやはり中学生としては受け止めがよかったのかなというふうに思っています。

9番目には、今回の活動がインターネットで発信したりだとかということで、非常に自分たちのことが認められたなという評価を9番目では受けられているような形になっています。あとはちょっと目

を通しておいてください。

問8、今後も中学生議会などの子ども議会を開催したほうがよいと思いますかということで、「開催した方がよい」というのがもう圧倒的に多くて、1人は「わからない」ということで、ほぼ皆さんが開催したほうがいいだろうというふうに認めてもらっています。

それから、問9がその8番で答えた内容についての、全体の中で市議会に対する意見、要望等があれば記入してくださいという記述式でした。ここは、ここに書いてあるように、先ほどにあった少し答弁の論点がずれていたように感じられるということで残念に思いましたというところと、あとはやっぱり、この先も私たち中学生が少しでも携われたらさらに中学生の市議会に対する参加の意欲が増すのではないかと思いますということで、非常によい意見が書かれておりました。

次のページに行きます。

この次のページ、ここからが学校関係者の質問になります。

問1は、事前に行った学校説明会について意見等があれば記入してくださいということで、ここは非常に、私たちがいろいろやっていた中を肯定的に評価してもらっている内容になります。

それから問2が、中学生議会の準備において、よかった点や苦慮した点、改善してほしい点など、ご意見をご記入くださいということで、これは5件回答があったんですけど、やはりこの1つ目が事前指導を丁寧に行うには各校の6名はちょっと負担やったというところでした。

それから、ちょっと改善点ばっかしになるんですけど、事前に資料が欲しかったというのが2番目にちょっと改善点として書いてあります。

3番目には、やはりメンバーの選定や事前の質問の作成に時間がとてもかかったということで、非常に時間がかかってしまったなというところもこのアンケートから分かります。

それでは、次の3番目になります。

中学生議会について、よかった点や改善してほしい点など、ご意見等があれば記入してくださいということで、これまた回答が5件ありました。

まず、開催については、夏休み開催は適切だったということでした。

2番目のところ、よかった点としては、やっぱりそれぞれの生徒が亀山市のことについて自分でしっかりと考えることができたということです。また、あと他校の生徒の質問内容を聞くことができたというところもよい点というところですよ。

意見としては、答弁をされるわけなんですけど、たくさんの内容で非常に聞き取ってメモを取るのが大変でしたということで、子どもたちも一生懸命メモを取られていたようなんですけど、取り切れなかったというところの反省かなというところもあります。

それから、あとは3番目ですが、生徒からの提案や意見がもっとあるといいというふうな形で、時間の関係もありますけど、やはりこういうところもありました。

4番目では、やはりこの子どもたちの顔が全てを物語っていたということで、非常に充実した達成感に満ちた顔をしていたというような評価をされています。

最後5番目が、これは先生への問いなんですけど、今後も中学生議会などの子ども議会を開催したほうがよいかということを探ねると今度は逆に、先生の負担が多かったのか分かりませんが、柔らかに「わからない」というところが半数以上ということになりました。

要望というところでは、特にないんですけど、貴重な経験をさせていただいたということと、事

務局をはじめいろいろサポートしたことにはお褒めの言葉がありましたという報告でございます。以上になります。

○部会長（福沢美由紀君） 説明をいただきました。

このアンケート調査の結果について、何かご意見がありましたら、順次発言をお願いいたします。

（発言する者なし）

○部会長（福沢美由紀君） また皆さんには、後でご意見もいただきますので、次に移りますね。

ないようでしたら、続いて皆さんから今回中学生議会を実施して気づいたことや感想など、ご意見いただきたいんですね。ちょっと記憶がまだ新しいうちに皆さんのご意見を伺っておきたいと思うんですが、例えば準備がどうだったとか学校説明会がどうだったか、こういうプロジェクトチームをつかったこと自体がどうだったかとか、あと学校との調整、リハーサル、当日の進行のことや議会そのもの、当日のこと、感じたことや気がついたことなど、ご意見を伺いたいと思います。

どなたからでもどうぞ。

森委員。

○部会員（森 英之君） 今回初めてのことでしたので戸惑いもありましたけれど、プロジェクトチームをつくってその中で鋭意進めていったというやり方がよかったかなというふうに思いました。

出前授業も大変でしたけれど、中学生3年生の方にも理解をしてもらうという機会にはよかったかなと思いますし、そこは非常によかったかなというふうに思いました。

当日も、受入れも大変でしたけれど、すごくやる気に満ちていた中学生を受け入れるに当たっては、きちっとやらなくちゃいけないというふうに思いましたし、打合せどおりにやれていたのによかったかなあというふうに思います。

答弁の中身についてはなかなか申し上げるのは難しいかもしれませんが、やっぱりちょっとしゃくし定期的な内容が多かったかなという気がしてしまって、聞いてしまうと我々議員がそれを捉まえてまたそれを議会で取り上げるとか、そういうその何か守りの姿勢が多過ぎて、ちょっとそういうところがかいま見えた答弁が多かったかなという気がしていますけれども、それも踏まえて、少しこう、もう少しこう夢のあるというか、中学生の質問を前向きに捉えた答弁をしても、中学生議会ですからよかったかなというふうに思っています。そこまで踏まえていいかわかりませんが。

例えば、これを実現するに当たって現状は難しいけれども、少し人口減少している中で、少しでも人口を増やすようなことをしていくとその財源等が賅われてそういうこともできるかもしれませんが、何かそんなことも言っても、中学生議会ですから言ってもいいんじゃないかなあというふうにちょっと思いました。以上です。

○部会長（福沢美由紀君） ありがとうございます。

新委員。

○副部会長（新 秀隆君） やはり、プロジェクトチームとして一人一人が責任を持って、また中学校を訪問したときにも、本当に生徒の方皆さんが真剣に関わっていただいたその前向きな姿勢というのはすごく評価できるものではないかと思います。

そして、私はちょっとこの当日は、学校で1つ2つの質問で、あの子が傍聴するのかなあという感じに思っていたんですけど、今回全ての方が1人ずつ全てだったんじゃないかな、そこが非常に皆さん意識を高く持って挑んでいただいたというところもすごく感動する面でありました。

あとは、当日もスムーズに進行が進んでいったというのも、事前にちょっとこういうふうな異議なしとかここで言うんやととか、そういうこともちゃんとレクチャーが伝わって、無事に終えたということは非常によかったなあと。

ただ、今回アンケートの中で、質問に対する市の答えはどうでしたかというので、ここが分からなかったという子もおったということで、さっき森委員のおっしゃっておったような形で、ある程度、中学生議会ということで先の明るい見通しをやっぱり付け加えていったほうが進行にも、また中学生の方にも理解を得たのではないかなと、以上でございます。

○部会長（福沢美由紀君） ほかにありますか、どうですか。

櫻木委員。

○部会員（櫻木善仁君） 今回、出前授業に行ったことがすごくよかったかなというふうに思っています。これはなぜかという、例えばこの各校6人だけ選出してやると6人だけの教育になってしまうけれど、やはり今回行ったことによって生徒全員にいろんなことを紹介できるというのは非常によかったかなというふうに思っています。すごく何というか、中学生とその後いろいろ町なかで会うと何か知っておる人が何か声をかけてくれて、だから、それはすごくよかったかなというふうに思っているんで、やっぱり出前授業をして、やはり私たちも近づくというところは非常に有効やったかなというふうに思います。

それともう一点ですね。マイナスというか、やっぱりこの今回、主権者教育なんで選管もやっぱり入っておったほうがよかったんじゃないかなという。教育委員会は当然学校の教育として入っていると思うんですけど、主権者教育をしていく中ではこの選挙管理委員会というのもやはり、選挙の投票率を上げたりするのをこの年代からつないでいくということを考えると、やはりそういう部署が入っていないとまずいと違うかなというのは今になって。

というのはこの間、実は全国議長会に行ったときにちょうどその主権者教育の話があって、そういうことをやっぱり教育するのは教育委員会と選挙管理委員会と、主権者教育というのはというところを聞いて、ああ、そうやなというふうなのをちょっと感じ取ったんで感想で述べさせていただきました。

○部会長（福沢美由紀君） ありがとうございます。

どうですか。

今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） 私は、中学生議会で出た質問をその後議会でどう取り扱うかというのを話してなかったなというのを反省点として上げたいと思います。

実は私、その次の一般質問で、中学生議会で出た質問についてということで幾つかちょっと質問をさせてもらったんですけど、ちょっと部会長なんかとも相談させていただいて、課題点に森委員とか新委員も上げていただいたように、返ってきた答弁について、中学生はこうやって質問したかったんじゃないかとかこういう意見やったんじゃないかということを改めて聞き直す、ちょっと質疑に近いスタイルにしたんですけど、その後何回か開催していくと、例えば中学生がした質問の意見に対して、もしかしたら私はこうは思わない、反対だというような取上げ方をするような人がおったりするのかなとかいろいろ想定はできると思うんで、その後の議会での取扱いというのも話をしたほうがいいのかというふうには感じました。以上です。

○部会長（福沢美由紀君） 小坂委員はどうですか。

○部会員（小坂直親君） 当日、参加しておらんでなあ。

結局一番最後には、今後の中学生議会などの子ども議会を開催したほうがよいかという質問に対して、開催したほうがいい、こんな一部というこの結果をどう評価するの。これをどうすることによって、来年、再来年以降するせん以上にこれが全てとちゃうの。生徒やなしに、保護者やなしに、それに関わっておるその先生らが必要とおらんのやったら、実際それなりには、ようけ評価はしておるけどさ。ただ、結論としてこれが今後、どうやってこれの数字をどうやって進めていくのか。この辺についてやっぱり反省点が要るやないの。改善点がなければまた同じことになると思うのや。

中身は、今回僕は当日におらんで分からんけど、今これらをずっと読んでおるけど、最終的にこういう結論に対してどう思うというだけのことやないの、今後、どうつなげていくんやというだけのことや。

○部会長（福沢美由紀君） ありがとうございます。

皆さんからは、議員全員でお伝えしたときも、答弁をどうすんのやという話はすごくやっぱり心配がありました。やっぱり課題が残ったのかなというところはありませんし、今言っていた子どもたちの質問を、じゃあ私たちがどう捉えてどんなふうに議会で取り上げようとか、そういうことは全然話し合ったことがなかったなというのがありますし、今小坂委員言っていましたように、子どもたちはよかったという子が大半だったけれども、先生方がたった5人の回答ではありますが、やっぱり半数以上が分からないと、今度やっていかどうか分からないというお答えだったということについては、またお話も聞いたりもせなあかんのかなあとは思いますが。

私自身として、部会長として、事務局なんかと各学校といろいろやり取りをする中では、学校によって先生方の連携がどのようになっているのかがちょっと把握しづらいというか、どなたに言うたら伝わるかとか、そんなんが本当に分からない。混沌としたまま、がむしゃらに頑張ったなという感じなので、そこら辺ももう少しスムーズな連携が取れたら、先生方のご負担ももしかしたらなかったのかもしれないし、そこら辺が分かりづらかったかなあとも思いました。

この答弁に対しては、いろいろちょっとすぐには結論も出ませんし、どうしたらいいか分かりませんが、一旦ここで皆さんの関わった生のご意見をいただいた上で、会派の皆さんにもぜひお話を聞いていただきたいなあと思います。

ほかにはよかったですか、ご意見いいですか。

どうぞ、森委員。

○部会員（森 英之君） 中部中学校さんはたしか再質問をされていたと思うんですけども、亀中さんは時間をあまりにも気にしてみえて、質問だけして聞くだけで終わってしまった部分もあるので、もう少し、できたら中部中学校さんのやり方がいいかなというふうに感じましたので、少し今回初めてのことやったんで時間も短かったと思うので、アンケートでも、時間をちょっと慌ただしく感じたということなんで、少し休憩も挟んでもいいので、時間の割り振りはもう少し考えたほうがいいかなというふうに思いました。以上です。

○部会長（福沢美由紀君） 時間ですね。当初、私たちも各校30分と設定していたんですけども、子どもたちはそんなにしゃべれないよという校長先生方のご意見を踏まえて、おおむね20分ということで設定をさせていただいたところですが、やっぱり取り組んだらいろいろ言いたいことも出てく

るし、返したかったなという先ほどのアンケートの結果もありましたので、もしやるとしたらそういうことも含めて検討、それもそういうことも各学校でこういう経過でこうなったよということが、なかなか丁寧に伝わっていないということがまた課題でもあったかなあと。なんで20分しかなかったのかということをやっぱり言ってみえる方もおいでになったので、そこも含めてやっぱり人ですからね。なかなかこれからも工夫が、やるのであればいろんな工夫が必要なのかなあと思いました。

ほかにありませんか。

(発言する者なし)

○部会長（福沢美由紀君） ないようでしたら、先ほどいただいたご意見とアンケート結果を踏まえて、中学生議会については今後整理して、子どもの意見表明の場として子ども議会をどのように行っていくのか、市長部局や教育委員会、学校関係者とも調整しながら検討部会において協議して、最終的には議会改革推進会議でご確認いただいて決定していきたいと考えております。

また、子ども議会の今後の実施については、各党派でのご意見を聞いていただいた上で、新しい体制になってから検討部会でご協議いただきたいと考えています。

今後検討していくことなんですけれども、子ども議会の実施について、今回の中学生議会は、これ、どこかに落としてもうたんやな、そうですね。

今送ってもらいましたが、もう参考資料として落としてもろうてありますので、毎年実施、どのように実施していくのがよいかということ各党派で協議していただきたいんですけれども、お声を聞いていただきたいんですけれども、毎年実施するのかどうか。対象者は中学生でよいのか、小学校や高校などはどうか。また、各学校からの参加人数はどうするのか。実施手法は、本会議、委員会、ワークショップなど、どのような形式がよいのか。学校説明会の実施方法はどうか。事前オリエンテーションの実施は必要なのか。リハーサルだけでは時間が短かったかなということも踏まえて、いろいろご意見を聞いて、各党派でちょっとお話ししてきていただきたいなと思います。

もし、次に子ども議会を実施しようという場合は、今回もそうだったんですけれども、2月の市内の調整会議、そこで調整してもらおうということが必要になるので、それまでに市長部局や教育委員会、学校との調整をしておいてその2月の調整会議にかけてもらうというスケジュールになってくるとのことなので、かなりタイトなスケジュールなので、私個人的にはもう、来年すぐはちょっと難しいのかなとは、今回のようなスケジュールだとね、思っていますが、そこも含めて、違う形やったらもっと簡単にできるのかも分かりませんし、いろいろ話し合ってきていただきたいなと思います。

ここについてはいかがですか、よろしいですかね。

(発言する者なし)

○部会長（福沢美由紀君） そして次に、中学生議会会議録を作りましょうということですが、なっていたんですが、今岡委員のほうで作成いただき、今最終調整に入っております。

会議録については、部会員の皆さんにもご確認いただきたいと考えていますので、これは完成しましたらまた集まるということではなく、事務局から、メールもしくはLINE WORKSで送付させていただきますのでご確認いただきたいと思います。それでご確認いただいた上で、アンケート調査結果と会議録を併せて市長部局、教育委員会、学校へそれぞれお持ちしたいと考えているんですけれども、そのような段取りでよろしいですか。集まらずに、LINE WORKSの中で確認していただくということなんです、いいですか。

(発言する者なし)

○部会長（福沢美由紀君） それでは、そのように進めていきたいと思えます。

次に、議会改革のまとめについてでございます。

事務局から説明をお願いします。

新山グループリーダー、お願いします。

○議会事務局員（新山さおり君） それでは、議会改革の1年間のまとめということで説明させていただきます。

まず、資料3をご覧ください。

こちらは検討課題の一覧、スケジュールも合わせたものでございます。

令和5年の11月から検討してまいりました検討課題がこちらのほうに記載してございます。色が塗ってある部分が今現在着手中の検討課題でございます。

上から順番に説明をさせていただきます。

まず、検討課題11番、公聴会制度についてなんですけれども、こちらは現在協議はしておりませんのでこのままになっております。

次に、検討課題27番、新たな議決項目の必要性についてなんですけれども、こちらは令和5年にその時点では追加する、議決事件の追加事項はないというご協議の結果になりまして、今後議決事件に追加すべき計画などが出てまいりましたら、必要に応じて再度検討をしていただくということで継続になっております。

続きまして、検討課題31番、本条例の目的達成の検証の在り方についてということで、こちらにつきましましては、今年検討してきた課題になっております。令和4年に実施しました議会基本条例の検証におきまして出てきた課題になってくるんですけれども、条例全体としては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大ですとかSDGsの取組、自治体DXの推進など、社会情勢の変化がある中で、この現在の条例の表記が実情に合わないのではないかとということで検証していこうということになりました。その結果、災害や感染症拡大等の危機管理の対応や、障がい者への合理的配慮が現条例に規定をされていませんので、その事項についてどのようにしていくかということで協議を進めていただいております。

令和6年の1月に資料、他市議会のその条例の規定の比較表を皆さんでご協議をしていただいたかと思うんですけれども、今それを各会派にお持ち帰りいただきまして、今協議をしていただいております。こちらにつきましましては、中学生議会の実施と重なってまいりましたので一旦そこで協議がストップはしておりますけれども、また今後優先的に検討していかなければならない課題ということで、優先的に検討ということで、また11月以降の検討課題になってくるかと思えます。

続きまして、検討課題38、議会事務局の機能強化についてでございます。

こちらは優先順位が低いということで、現在着手はしていますけれども、今年は協議を進めておりません。事務局の業務内容などを分析して業務の見直しを行うということで、事務局の在り方の検討、あと体制強化ということになるんですけれども、これはまたこちらの検討が必要であるということでございますので、今後の検討課題になってまいります。

続きまして、検討課題47、子ども議会の実施についてでございます。

こちらは、一番最優先の検討課題ということで、今年進めていただきました。

先ほども部会長からも説明がありましたとおり、検討部会内に設置した子ども議会プロジェクトチームにおきまして、子ども議会の実施手法など、いろんなこと全てそちらで検討していただいた上で検討部会でご協議いただき、進めてきていただきました。あわせて、市長部局や教育委員会、学校関係者とも協議を重ねまして調整をしながら、学校説明会を5月9日、24日、30日に実施をしまして、その後、中学生議会の具体的な手法やスケジュールも決定し、去る8月27日に令和6年度亀山市中学生議会を開催いたしました。

こちらについては開催はいたしましたけれども、そちらの内容につきまして丁寧に総括をしていくということで、今後新しい体制で、11月以降になりますけれども優先的に検討していく課題になるかと思っておりますので継続になっております。

続きまして、検討課題48でございます。

こちらはオンライン会議の実施についてでございます。

これにつきましては、令和3年3月に委員会条例を改正いたしまして、オンライン会議を可能といたしましたが、今現在一度も実施をしておりません。今後、実施については課題などを検証する必要があるんですけれども、一度開催をする必要があるとは考えておりますので、こちらについても、11月以降、開催の検討を進めていくこととなります。

続きまして、検討課題49、議会の情報化についてでございます。

こちらにつきましては、昨年、LINE WORKSを導入いたしまして、現在スケジュールの管理や会議日程の調整、あとは議員間のコミュニケーションなど、こちらを活用いただきまして議会運営の効率化を図っておる状況でございます。ただ、この議会グループウェアLINE WORKSにつきましてはほかにも機能がございまして、掲示板機能ですとかさらなる機能がありますので、それを活用する検討というのが必要になっております。これもまた改めて11月以降の検討課題になるかと思っております。

続きまして、検討課題50番、議員の介護休暇及び育児休暇についてでございます。

こちら令和3年3月の会議規則の改正によりまして、欠席理由の整理をしていただきました。その中で、具体的に介護ですとか育児休暇のこともあるんですけれども、その詳細な運用についてまとめたものが今現在ございません。ですので、今後その運用について協議をいただきましてまとめていく必要があるということで、検討課題になっております。また、これも11月以降に優先順位を決めていただきますので、検討していただく事項になっております。

続きまして、検討課題52番、議会図書室についてでございます。

今回、これは優先順位が低いということで検討はしてございませんが、今後、議会図書室の重要性というのは全国議長会から言われておりますので、議員の調査・研究、あとは政策形成能力の向上のために議会図書室の充実を図る必要があると考えておりますので、こちらについてもご検討いただくことになるかと思っております。

あと、残り白い部分については、まだ未着手の検討課題になっております。

こちらの資料の説明は以上でございます。

○部会長（福沢美由紀君） 今説明をいただきましたけど、特に何かございますか。LINE WORKSは実際にやりましたんで、例えば中間的に皆さんが思っていることとか、もし聞かせていただけたら。参考に、次の次への参考にできたらいいかなと思うんですけど、使ってみてどうだったかとか聞かせてもらっていいですか。もしよろしかったら。

今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） トークでどこまでのことを話すかという基準がちょっと迷うと思ったんですけど、例えば私さっきトークを見直してみて、スポーツ協会の総会と懇親会にできるだけ出てほしいということを教育民生委員会のトークで言ったんですけど、そこまで行ってもらったほうがいいので、そこまでしっかり参加できるようにLINE WORKS上で調整はしたかったんですけど、一応ちょっと懇親会という話だったので、そのときはやめておこうという基準で話を切ったんですけど、ほかの委員さんにちょっと意見を聞いてみたら、議会全体に案内も来ておる公式的なことやで別にあそこでやってもいいんじゃないとか、やっぱり懇親会って、呼んではもろうておるけど公式な行事ではないから、あそこではあんまりよくないんじゃないという意見があったりとか、なかなか使っていくに当たって基準が難しいなというふうに感じました。

○部会長（福沢美由紀君） ありがとうございます。

トークというものをどのように使うとか、どんなグループをつくるとかあんまり決めないで、割とスケジュール管理のところ重視で始まったと思うんですけども、特に今こういうふうにしてほしいとか、もしありましたら、ちょっともらっておこうかなと思っただけなんですけど。

森委員。

○部会員（森 英之君） スケジュールを入力するのが結構手間で面倒だったんですけど、多分ですけど、皆さんのスケジュールを調整するに当たっては非常に利便性が高くなったんじゃないかなというふうに思いますので、そこはよかったんじゃないかなと思います。プライベートのところもちゃんと使い分けができますし、その辺はこれから我々も慣れていって、その利便性をさらに上げていくということが必要かなと思うのと、せっかくこれを入れたので、さっきグループリーダーからありましたけど、さらなる活用というのも必要かなというふうに思います。

○部会長（福沢美由紀君） そうですね。

予定にない問い合わせでしたけれども、視察なんかに見えてもそれはどうなんですとか聞かれたりとかするし、皆さん実感として、また非公式でもいいので聞かせてもらったらいいのかなと思います。

そうしたら、今の説明についてはほかに、質問とか確認とかありませんか。

（発言する者なし）

○部会長（福沢美由紀君） ないようでしたら、このような内容で、今お聞きしたのは別ね、記述について21日の議会改革推進会議でご確認いただき、1年間の議会改革のまとめとさせていただきます。

よろしいですか。

（発言する者なし）

○部会長（福沢美由紀君） 次に、資料4についてお願いします。

新山グループリーダー。

○議会事務局員（新山さおり君） では次に、資料4をご覧ください。

こちらは議会改革白書2024でございます。毎年更新をして追記をしていくものでしたが、昨年にリニューアルしまして、1年間の議会改革の取組についてをまとめるものとして今作成しております。こちらは大きく5つの項目で整理をしております、各会議や委員会の活動報告とそれぞれの会

議での決定事項、そして議会改革の取組、それから広聴広報の取組、そして最後に参考資料という形でまとめております。

もうこちらについては詳しくは、説明は省略させていただくんですけれども、それぞれの会議の活動報告につきましては、全て公開の会議のものにつきまして、開催した日程と案件について記載をしております。

次に、決定事項でございますが、こちらにつきましてはこの1年間で決定した内容、この議会改革検討部会のほうでいつもご確認いただいておりますが、白書に掲載する決定事項が今年は3つということでしたので、今現在白書のほうにまとめてございます。

1つは子ども議会の実施についてをまとめておまして、もう一つが議会運営委員会で決定していただいた委員会への特別職の出席についてということで、地域医療統括官も出席をしないということでまとめてございます。それから、あと議会改革の取組につきましては、政策提言ということで所管事務調査の報告書のほう、3つの委員会を掲載させていただいております、それプラス政策条例の取組ということで、今現在子どもの権利条例についてご協議をいただいておりますので、その経過についてまとめております。こちらの政策条例につきましては、まだ現在検討中ですので、昨年からの取組も全て載せたままで2024年の取組という部分をまとめさせていただいております。

その後検討課題、完了したものが今年はなかったのではないということと、現在着手中の検討課題の中で、進んだものについて2点、先ほど説明をさせていただきました議会基本条例の検討と、あと子ども議会の実施の2点をまとめてございます。

あとは、中学生議会の内容を少し掲載させていただいた後、全てのカルテ、完了したものから着手中、そして未着手のもの全て記載しております。

そして、4つ目の広聴広報の取組につきましては、かめやま市議会だよりと、あと「こんにちは！市議会です」の番組原稿、そして最後にインターネット配信のアクセス件数を毎月まとめておりますので、そちらを掲載しております。

あと参考資料につきましては、いつも視察でも説明させていただいております資料になるんですけれども、議会改革の取組、そして議会改革推進会議の取組、広聴広報の取組、タブレット端末導入の経過など、まとめたものがございますので参考資料として添付をしております。

議会改革白書については以上でございます。

そして、併せてなんですけれども、資料5-1と5-2なんですけれども、亀山市議会要覧につきましても、毎年この時期に1年間に様々なご協議の中で決定したものを追記しておりますので、こちらでも更新をしております。こちらにつきましては、赤字で今回書かせていただいた部分が新たに追加したもの、そして青字では、昨年までの取組になるんですが、追記が必要というものにつきまして記載をしております。こちらの構成につきましては、表紙からずうっと目次がありまして、基本条例、総則からいろんな会議、あと議案ですとかいろんな先例について記載したものと新型コロナウイルス感染症対策の運用につきましてまとめたもの、そしてちょっと別途、例規集については資料5-2に掲載をしておるんですけれども、こちらに全ての議会の例規をまとめておまして、これが全て最新の例規になっております。

説明は以上でございます。

○部会長（福沢美由紀君） 議会改革白書2024と議会要覧についてということで説明いただいた

んですね。

皆さんから何か確認、質問などありましたら順次発言をお願いします。

(発言する者なし)

○部会長（福沢美由紀君） ないようでしたら、重なりますけれども、このような内容で21日の議会改革推進会議でご確認いただき、1年間の議会改革のまとめとさせていただきます。

次に、その他の項でございます。

今回でこの検討部会の任期2年間を終えるということになります。

私部会長としても、これでもう最後となります。副部会長と共に今回、分からないままに頑張っただけでした。いろいろ本当に皆さんに助けていただき、ご不自由をかけることが多々あったと思うんですけど、初めての子ども議会にも一緒に頑張ることができて、私は充実していたなあとは思いますが、また次につなげていけるような議会に、いい話ができればと思いますが、先ほどから聞いていると、何か課題、やらなくちゃいけないこと満載で目まいがしそうですけれども、ご一緒にまた、ここに入るかどうか、以外でも頑張りたいと思います。どなたがなさるか分かりませんが、どの場所においても頑張りたいなと思っております。

本日の案件は以上ですけど、ほかに何か皆さんからありますか。

(発言する者なし)

○部会長（福沢美由紀君） なければ、以上で議会改革推進会議検討部会を閉会いたします。ありがとうございました。

午前10時50分 閉会

この会議録は正当であることを認め、ここに署名する。

令和 6 年 10 月 18 日

議会改革推進会議検討部会長 福 沢 美由紀